

報告 水部会

渡り鳥観察 月影の雁たち

2月15日、蕪栗沼を中心とする渡り鳥観察会に参加。太陽が沈んで暗くなった空を、鳴きながら沼に帰って来るマガンに感動しました。

縄文の遺跡のあるこの蕪栗沼一帯は、広大な湿地で、藩政の頃、藩の御用鳥を捕獲する場所だったという。その後、干拓され田んぼに変わったが、近年になって3分の1程を復元、ガン・カモの飛来地となっている。(マガンは8割が宮城県に渡る)

渡り鳥のため、あえて街灯を設置しない蕪栗沼周辺は、次第に暮れてゆき水面が薄墨色に光っている。



隊列を組みてかえり来る雁のむれ

日没過ぎし沼岸に待つ

暮れぐれの山のかなたに湧くごとし

雁の隊列仰ぎてあかず

やがて静かに満月が昇り、その前を鳴きながら過ぎてゆく雁の隊列を見ていると、タイムスリップしたかのような錯覚の中で、ここに過ぎ去った悠久の月日が思われるのでした。

講師の呉地正行理事（日本雁を保護する会会長）の折々のお話は、渡り鳥への限らない優しさに満ちており、しつとりと心に沁みました。渡りの鳥は、とても警戒心が強く、人工的なものを好まない、重ねて話されたことがとても印象に残りました。

人工の何もいらぬと君は説く

月かげの沼に雁帰るとき

一段と冷えの増す沼岸を、感動の余韻にひたりながら、帰りのバスに向かったのは18時を過ぎていたでしょうか。

(水部会 井上千鶴子)



報告

セミナー企画プロジェクト

箏・十七絃に

酔いしれる

2月21日(金)に、日専連BEEBベースメントシアターで、「第6回新春MELON環境コンサート」が行なわれました。

市川慎さん、菊地奈緒子さんによる箏の演奏は、文字では表しにくいですが、日本の伝統楽器による現代音楽という新鮮で素晴らしい演奏でした。当日の来場者数は125人でした。落ち着いた雰囲気で開催することができ、参加者のアンケートからも満足していただけた様子が感じられました。演奏をしていただいた市川慎さん、菊地奈緒子さんからも、「演奏に集中してくれている空気が伝わってきて大変良かった」という感想をいただきました。MELONを特徴づけるイベントとして、今年度もよい企画を考えていければと思います。

*「環境コンサート実行委員」を募集中です。

詳しくはMELON事務局まで。



報告

MELON事務局

ネットワーク 広がっています

事業成果物の項でも紹介していますが、02年度は宮城県委託事業として、環境学習のためのガイドとなる「みやぎエコ体験プログラム ほら、やってみよう！」を作成し、3月14日(金)にハーネル仙台においてその完成お披露目会を行ないました。当日は、プログラム掲載者13名と作成にあたった検討委員8名の出席で、完成したプログラム冊子に目を通しました。また、お披露目会後には、プログラム掲載者の方から安価でご提供いただいたこだわりの食材を使った料理を囲んで交流会を行い、そのおいしさに皆さんも満足の様子でした。この冊子はあくまでも通過点で、今後掲載者同士で環境学習のネットワークが広がっていけば素晴らしいと思っています。